

# 膨張する中国と日本の対応



二〇一〇年九月の尖閣諸島沖における中国漁船による海上保安庁巡視船への体当たり事件。および引き続いだア・アースの対日輸出禁止、中国に滞在する日本人の逮捕・拘留等の中国の一連の対日強硬措置は、日本と日本人に大きな衝撃を与えると同時に、その対中不信感を増大させました。これらの出来事は、それに先立つて中国が示してきた、南シナ海における東南アジア諸国漁船の拿捕、黄海における米韓合同演習に対する反対等に対し、その対中不信感を相まって、膨張する中国はついに「覇光養晦」と呼ばれる对外協調路線を放棄したのではないかとの懸念を生んだのです。

中国漁船による海上保安庁巡視船への体当たり事件。および引き続いだア・アースの対日輸出禁止、中国に滞在する日本人の逮捕・拘留等の中国の一連の対日強硬措置は、日本と日本人に大きな衝撃を与えると同時に、その対中不信感を増大させました。これらの出来事は、それに先立つて中国が示してきた、南シナ海における東南アジア諸国漁船の拿捕、黄海における米韓合同演習に対する反対等に対し、その対中不信感を相まって、膨張する中国はついに「覇光養晦」と呼ばれる对外協調路線を放棄したのではないかとの懸念を生んだのです。